橋梁諸元と総合検査結果							
橋梁名	第1新興橋		路線名	中当古里線		管轄	北海道
所在地	自	幕別町忠類中当	距離標	自	km		幕別町
	至			至	km		

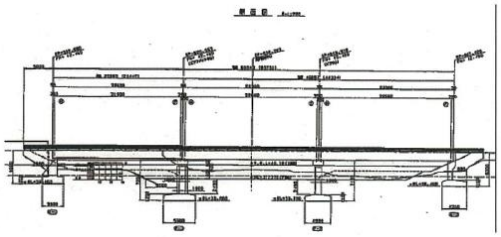
供用開始日	1986年	活荷重・等級	TL-20(S31)	適用示方書	
橋長	69.54 m	総径間数	3 径間		
上部構造形式	PC橋 ポステンT桁／PC橋 プレテンT桁	下部構造形式	重力式橋台／T型橋脚(RC)	基礎形式	

交通条件	調査年		大型車混入率	
	交通量	(昼間12時間)	荷重制限	

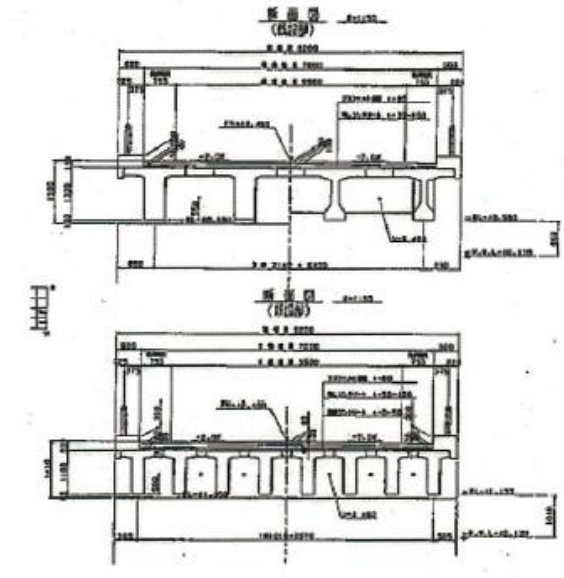
幅員			左側			中央帯	右側		
	全幅員	8.2 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線		地覆幅
	有効幅員	7 m	0.6 m	m	3.5 m	m	3.5 m	m	0.6 m

海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	無	優先確保ルートの指定	
路下条件	河川・開水路・湖沼				

全体図



径間別一般図



橋梁諸元等データ

県名	北海道	地方公共団体名	幕別町	事務所名	

橋梁管理番号	01643101260	橋梁番号	0126		
橋梁名称	第1新興橋	カナ	ﾀﾞｲ1ｼﾝｺｳﾊﾞｼ		
路線番号	1418	路線名	中当古里線	カナ	ﾅｶﾄｳﾌﾙｻﾄｾﾝ
架設年月	1986 年	月			
道路種別	市町村道 2級	現旧区分			

橋梁種別	橋	分割番号	0	分割区分	上下線一体
径間数	3	橋長	69.54 m		
全幅員	8.2 m	有効幅員	7 m		

左側	地覆幅	0.6 m	歩道	m	車道	3.5 m	中央帯	m
右側	地覆幅	0.6 m	歩道	m	車道	3.5 m		

所在地	幕別町忠類中当	距離標	km
緯度	42° 32′ 31″	経度	143° 22′ 18″	維持管理区分	B
---	---	---	---	---	---

塩害地域	無	海岸からの距離	m	塩害地域区分	

交通量12時間	台	大型車交通量24時間	台	センサス年度	年
架橋条件	河川・開水路・湖沼	緊急輸送路の指定	無		

管理水準	3種	道路規格	第3種5級		
交差物名称	当縁川				
除雪区分		橋面積m2	486.8 ㎡	迂回路	有
適用示方書		設計活荷重	TL-20（S31）		

路線重要度	非標準化	橋梁重要度	B種		
第三者被害	河川	活荷重対応	未対応		
環境対策	環境対策済み橋梁、区域外橋梁	復旧難易度	容易		

アルカリ骨材反応	

上部工諸元

2017/3/10

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋

構造体番号	完成年	材料区分	桁形式	桁本数	桁高（m）	主桁フランジ幅（m）	構造形式	床版材料	床版厚（cm）	床版防水	床版種類使用形式	プライマー下塗り塗料	中塗り塗料	上塗り塗料	起点側伸縮装置種類	終点側伸縮装置種類	主桁塗装面積（㎡）	主桁塗装年最新
1	2001	PC橋	単純桁	8			PC橋　プレテンT桁	コンクリート系			間詰め型（プレキャスト主桁＋場所打床版）							
2	1986	PC橋	単純桁	4			PC橋　ポステンT桁	コンクリート系			一体型（場所打主桁＋場所打床版）							

径間諸元

2017/3/10

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋

構造体番号	径間番号	支間長(m)	起点側躯体番号	終点側躯体番号	起点側支承種類	終点側支承種類
1	1		A1	P1		
2	2		P1	P2		
2	3		P2	A2		

下部工諸元

2017/3/10

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋

躯体番号	完成年	材料区分	下部構造高(m)	下部構造形式	基礎形式	プライマー下塗り塗料	中塗り塗料	上塗り塗料	下部工塗装面積m2	下部工塗装年　最新
A1	2001	コンクリート		重力式橋台						
A2	1986	コンクリート		重力式橋台						
P1	1986	コンクリート		重力式橋台						
P2	1986	コンクリート		T型橋脚（RC）						

補修履歴

2017/3/10

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋

部材種別	補修・補強 工法名称	構造体 番号	躯体 番号	補修完了 年月日	改良内容	耐震補修 適用示方書	補修補強 面積	工事費用 百万単位	補修改良目的	備考

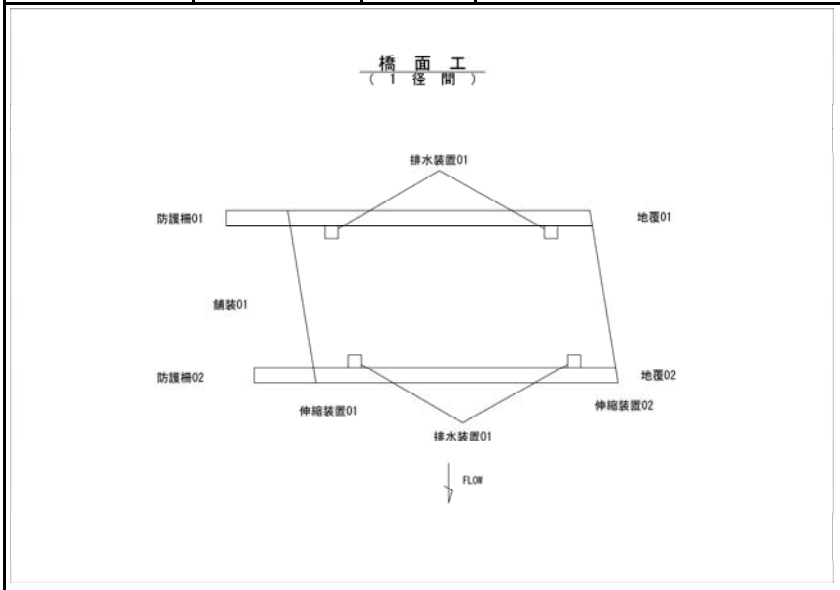
塗装履歴

2017/3/10

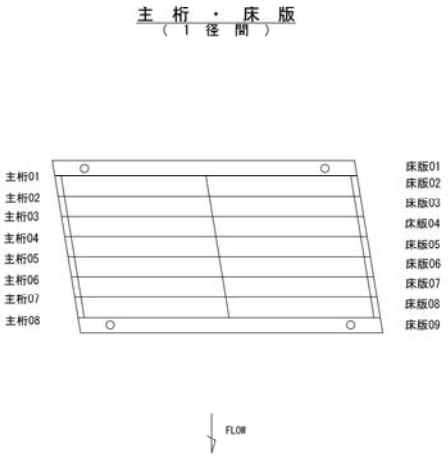
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋

上下部工区分	構造体番号	躯体番号	対象部材	塗装年月日	塗装費用百万単位	プライマー下塗り塗料	中塗り塗料	上塗り塗料	塗装面積㎡	備考

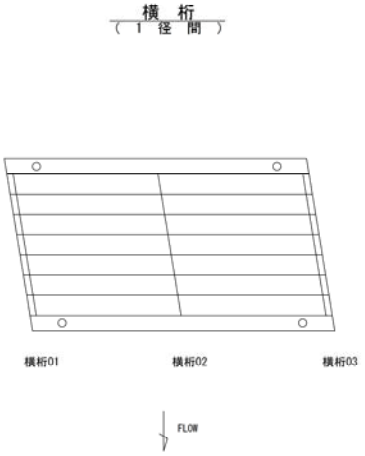
部材番号図					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線



写真番号	1
径間番号	1



写真番号	2
径間番号	1

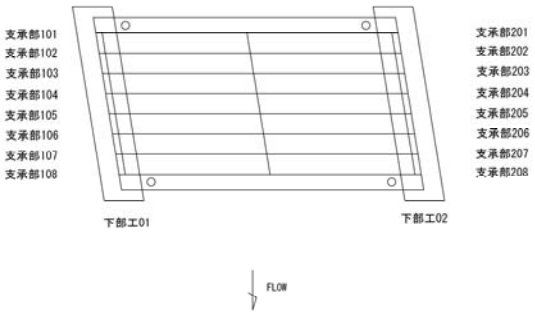


写真番号	3
径間番号	1

部材番号図

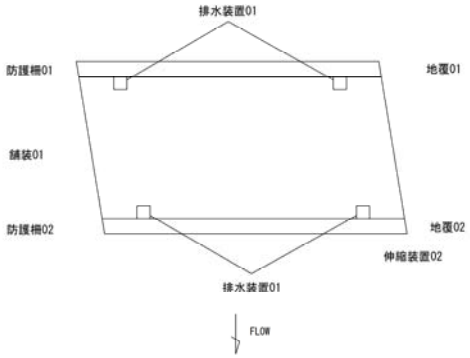
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

支承部・下部工
（1径間）



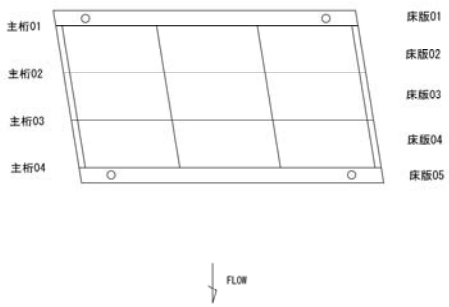
写真番号	4
径間番号	1

橋面工
（2径間）



写真番号	5
径間番号	2

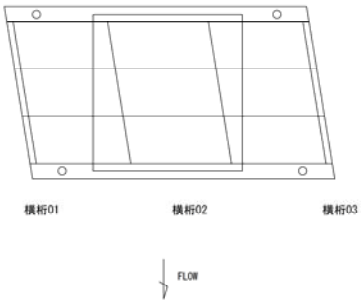
主桁・床版
（2径間）



写真番号	6
径間番号	2

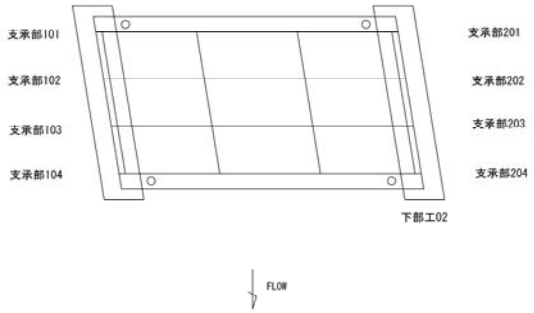
部材番号図					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

横　桁
（ 2 径 間 ）



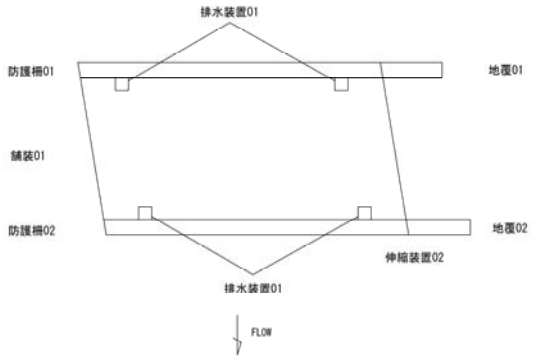
写真番号	7
径間番号	2

支 承 部・下 部 工
（ 2 径 間 ）



写真番号	8
径間番号	2

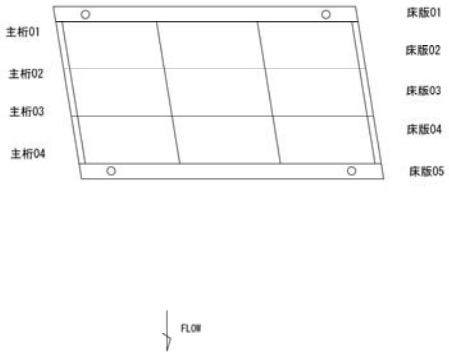
橋　面　工
（ 3 径 間 ）



写真番号	9
径間番号	3

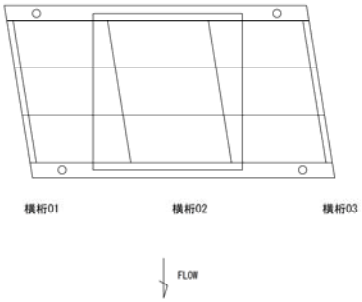
部材番号図					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

主 桁 ・ 床 版
（ 3 径 間 ）



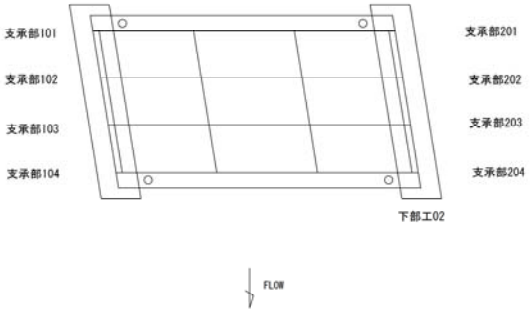
写真番号	10
径間番号	3

横 桁
（ 3 径 間 ）



写真番号	11
径間番号	3

支 承 部 ・ 下 部 工
（ 3 径 間 ）



写真番号	12
径間番号	3

2017/3/10

全景					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

視点	起点全景
撮影日	2016/12/16

視点	起点左橋名板
撮影日	2016/12/16

視点	起点右橋名板
撮影日	2016/12/16

2017/3/10

全景

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

視点	側面上流
撮影日	2016/12/16

視点	側面下流
撮影日	2016/12/16

視点	終点全景
撮影日	2016/12/16

2017/3/10

全景					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

視点	終点左橋名板
撮影日	2016/12/16

視点	終点右橋名板
撮影日	2016/12/16

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	左側全景
写真番号	1
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

左側全景

撮影ポイント	左側全景
写真番号	2
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

A1伸縮装置全景

撮影ポイント	左側全景
写真番号	3
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

P1伸縮装置全景

2017/3/10

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	左側全景
写真番号	4
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	高欄・防護柵
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
1径間橋面工-左側全景	
メ モ	
防食機能の劣化　b	

撮影ポイント	左側全景
写真番号	5
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	舗装
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
1径間橋面工-左側全景	
メ モ	
舗装の異常　d W=10.0mm	

撮影ポイント	左側全景
写真番号	6
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	舗装
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
1径間橋面工-左側全景	
メ モ	
舗装の異常　b W=3.0mm	

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	右側全景
写真番号	7
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

右側全景

撮影ポイント	右側全景
写真番号	8
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	高欄・防護柵
部材番号	02
損傷発生位置	

関連損傷図名

1径間橋面工-右側全景

メ モ

防食機能の劣化　b

撮影ポイント	右側全景
写真番号	9
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	舗装
部材番号	01
損傷発生位置	

関連損傷図名

1径間橋面工-右側全景

メ モ

舗装の異常　b
W=3.0mm

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	右側全景
写真番号	10
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	舗装
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
1径間橋面工-右側全景	
メ モ	
舗装の異常 b W=3.0mm	

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	11
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
上部工全景	

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	12
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	101
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	13
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	102
損傷発生位置	

関連損傷図名
1径間上部工-起点へ向けて

メ モ
モルタル剥離

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	14
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	103
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ
損傷なし

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	15
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	104
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ
損傷なし

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	16
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	105
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	17
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	106
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	18
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	107
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	19
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	108
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	20
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

橋歴板

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	21
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

上部工全景

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	22
径間番号	1
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	201
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	23
径間番号	1
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	202
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	24
径間番号	1
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	203
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	25
径間番号	1
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	204
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	26
径間番号	1
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	205
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	27
径間番号	1
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	206
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	28
径間番号	1
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	207
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	29
径間番号	1
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	208
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	30
径間番号	1
撮影日	2017/02/09
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
橋歴板	

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	起点側斜め
写真番号	31
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
A1全景	

撮影ポイント	起点側斜め
写真番号	32
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	下部工
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
1径間下部工-起点側斜め	
メ モ	
ひびわれ b W=0.15mm	

撮影ポイント	起点側斜め
写真番号	33
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	下部工
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
1径間下部工-起点側斜め	
メ モ	
写真32　近景	

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	起点側斜め
写真番号	34
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	下部工
部材番号	01
損傷発生位置	

関連損傷図名

1径間下部工-起点側斜め

メ モ

ひびわれ c
W=0.40mm

撮影ポイント	起点側斜め
写真番号	35
径間番号	1
撮影日	2016/12/16
部材名称	下部工
部材番号	01
損傷発生位置	

関連損傷図名

1径間下部工-起点側斜め

メ モ

ひびわれ c
W=0.5mm
遊離石灰 b
L=200
欠損 b

撮影ポイント	起点側斜め
写真番号	36
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

1径間下部工-起点側斜め

メ モ

護岸 ひびわれ
W=4.0mm

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	37
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

P1BP全景

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	38
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	下部工
部材番号	02
損傷発生位置	

関連損傷図名

1径間下部工-終点側斜め

メ モ

ひびわれ a
W=0.15mm

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	39
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	下部工
部材番号	02
損傷発生位置	

関連損傷図名

1径間下部工-終点側斜め

メ モ

写真38 近景

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	40
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

P1EP全景

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	41
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	下部工
部材番号	02
損傷発生位置	

関連損傷図名

1径間下部工-終点側斜め

メ モ

ひびわれ b
W=0.20mm

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	42
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	下部工
部材番号	02
損傷発生位置	

関連損傷図名

1径間下部工-終点側斜め

メ モ

写真41　近景

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	43
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	下部工
部材番号	02
損傷発生位置	

関連損傷図名

1径間下部工-終点側斜め

メ モ

ひびわれ c
W=0.30mm

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	44
径間番号	1
撮影日	2017/01/23
部材名称	下部工
部材番号	02
損傷発生位置	

関連損傷図名

1径間下部工-終点側斜め

メ モ

写真43 近景

撮影ポイント	左側全景
写真番号	45
径間番号	2
撮影日	2016/12/16
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

左側全景

2017/3/10

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	左側全景
写真番号	46
径間番号	2
撮影日	2016/12/16
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

P2伸縮装置全景

撮影ポイント	左側全景
写真番号	47
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	地覆
部材番号	01
損傷発生位置	

関連損傷図名

2径間橋面工-左側全景

メ モ

鉄筋露出 c
100×200

撮影ポイント	左側全景
写真番号	48
径間番号	2
撮影日	2016/12/16
部材名称	地覆
部材番号	01
損傷発生位置	

関連損傷図名

2径間橋面工-左側全景

メ モ

ひびわれ b
W=0.20mm

2017/3/10

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	左側全景
写真番号	49
径間番号	2
撮影日	2016/12/16
部材名称	舗装
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
2径間橋面工-左側全景	
メ モ	
舗装の異常 d W=6.0mm	

撮影ポイント	右側全景
写真番号	50
径間番号	2
撮影日	2016/12/16
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
右側全景	

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	51
径間番号	2
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
上部工全景	

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	52
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	主桁
部材番号	02
損傷発生位置	

関連損傷図名
2径間上部工-起点へ向けて

メ モ
遊離石灰 b L=200

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	53
径間番号	2
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	101
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ
損傷なし

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	54
径間番号	2
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	102
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ
損傷なし

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	55
径間番号	2
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	103
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

モルタル剥離

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	56
径間番号	2
撮影日	2017/02/09
部材名称	支承部
部材番号	104
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	57
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	排水装置
部材番号	01
損傷発生位置	

関連損傷図名

2径間上部工-起点へ向けて

メ モ

腐食　c
防食機能の劣化　d

損傷写真台帳

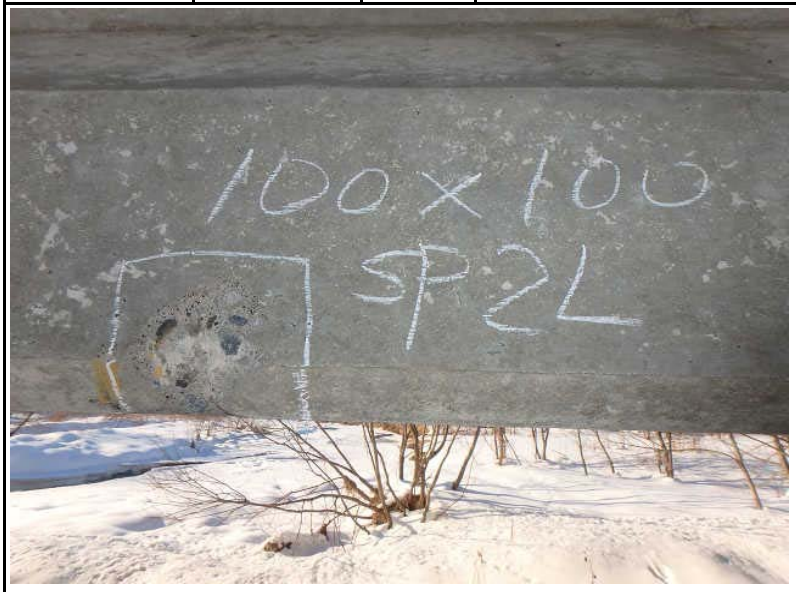
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	58
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	排水装置
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
2径間上部工-起点へ向けて	
メ モ	
腐食　b 防食機能の劣化　b	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	59
径間番号	2
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
上部工全景	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	60
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	主桁
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
2径間上部工-終点へ向けて	
メ モ	
欠損　b	

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線



撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	61
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	主桁
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
2径間上部工-終点へ向けて	
メ モ	
欠損 b	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	62
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	主桁
部材番号	04
損傷発生位置	
関連損傷図名	
2径間上部工-終点へ向けて	
メ モ	
欠損 b	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	63
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	横桁
部材番号	03
損傷発生位置	
関連損傷図名	
2径間上部工-終点へ向けて	
メ モ	
剥離 c 500×1300	

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	64
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	横桁
部材番号	03
損傷発生位置	
関連損傷図名	
2径間上部工-終点へ向けて	
メ モ	
鉄筋露出 d 350×1200	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	65
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	横桁
部材番号	03
損傷発生位置	
関連損傷図名	
2径間上部工-終点へ向けて	
メ モ	
鉄筋露出 d 400×1350	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	66
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	支承部
部材番号	201
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	67
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	支承部
部材番号	202
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	68
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	支承部
部材番号	203
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	69
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	支承部
部材番号	204
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	70
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	排水装置
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
2径間上部工-終点へ向けて	
メ モ	
腐食　b 防食機能の劣化　b	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	71
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	排水装置
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
2径間上部工-終点へ向けて	
メ モ	
腐食　b 防食機能の劣化　b	

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	72
径間番号	2
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
P2BP全景	

2017/3/10

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	73
径間番号	2
撮影日	2017/01/18
部材名称	下部工
部材番号	02
損傷発生位置	

関連損傷図名

2径間下部工-終点側斜め

メ モ

欠損 b

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	74
径間番号	2
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

P2EP全景

撮影ポイント	左側全景
写真番号	75
径間番号	3
撮影日	2016/12/16
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

左側全景

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	左側全景
写真番号	76
径間番号	3
撮影日	2016/12/16
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

A2伸縮装置全景

撮影ポイント	左側全景
写真番号	77
径間番号	3
撮影日	2016/12/16
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

3径間橋面工-左側全景

メ モ

橋名板　脱落

撮影ポイント	右側全景
写真番号	78
径間番号	3
撮影日	2016/12/16
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

右側全景

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	右側全景
写真番号	79
径間番号	3
撮影日	2016/12/16
部材名称	排水装置
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
3径間橋面工-右側全景	
メ モ	
土砂詰まり d	

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	80
径間番号	3
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
上部工全景	

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	81
径間番号	3
撮影日	2017/01/18
部材名称	主桁
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
3径間上部工-起点へ向けて	
メ モ	
欠損 b	

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	82
径間番号	3
撮影日	2017/01/18
部材名称	主桁
部材番号	04
損傷発生位置	
関連損傷図名	
3径間上部工-起点へ向けて	
メ モ	
遊離石灰　b L=100	

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	83
径間番号	3
撮影日	2017/01/18
部材名称	主桁
部材番号	04
損傷発生位置	
関連損傷図名	
3径間上部工-起点へ向けて	
メ モ	
欠損　b	

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	84
径間番号	3
撮影日	2017/01/18
部材名称	横桁
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
3径間上部工-起点へ向けて	
メ モ	
剥離　c 200×1300	

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	85
径間番号	3
撮影日	2017/01/18
部材名称	支承部
部材番号	101
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	86
径間番号	3
撮影日	2017/01/18
部材名称	支承部
部材番号	102
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	87
径間番号	3
撮影日	2017/01/18
部材名称	支承部
部材番号	103
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	88
径間番号	3
撮影日	2017/01/18
部材名称	支承部
部材番号	104
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	89
径間番号	3
撮影日	2017/01/18
部材名称	排水装置
部材番号	01
損傷発生位置	

関連損傷図名

3径間上部工-起点へ向けて

メ モ

腐食　b
防食機能の劣化　b

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	90
径間番号	3
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	

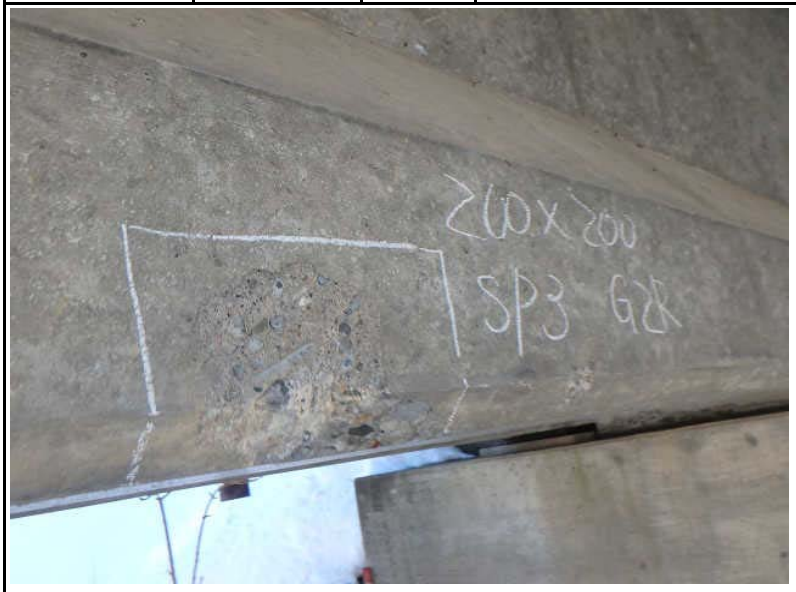
関連損傷図名

メ モ

上部工全景

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線



撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	91
径間番号	3
撮影日	2017/01/18
部材名称	主桁
部材番号	02
損傷発生位置	
関連損傷図名	
3径間上部工-終点へ向けて	
メ モ	
欠損 b 200×200	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	92
径間番号	3
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	201
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	93
径間番号	3
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	202
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
損傷なし	

損傷写真台帳

橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	94
径間番号	3
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	203
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	95
径間番号	3
撮影日	2017/01/23
部材名称	支承部
部材番号	204
損傷発生位置	

関連損傷図名

メ モ

損傷なし

撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	96
径間番号	3
撮影日	2017/01/23
部材名称	排水装置
部材番号	01
損傷発生位置	

関連損傷図名

3径間上部工-終点へ向けて

メ モ

腐食　b
防食機能の劣化　b

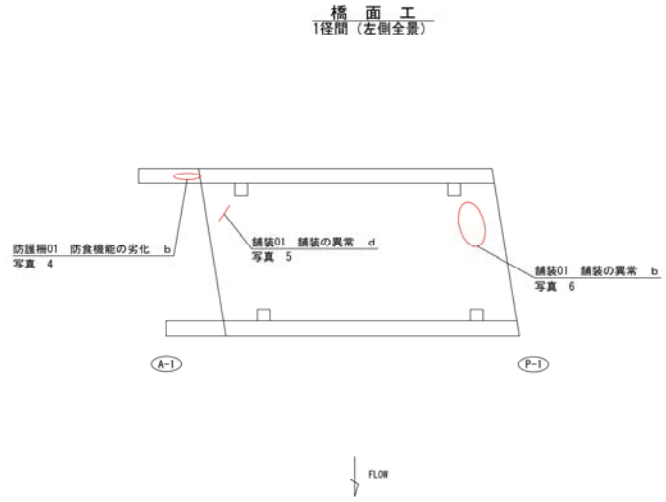
2017/3/10

損傷写真台帳					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線

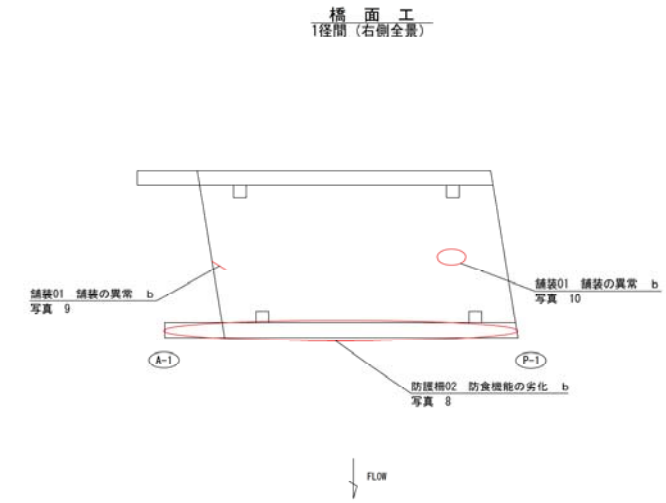
撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	97
径間番号	3
撮影日	2017/01/23
部材名称	排水装置
部材番号	01
損傷発生位置	
関連損傷図名	
3径間上部工-終点へ向けて	
メ モ	
腐食　b 防食機能の劣化　b	

撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	98
径間番号	3
撮影日	2017/01/23
部材名称	
部材番号	
損傷発生位置	
関連損傷図名	
メ モ	
A2全景	

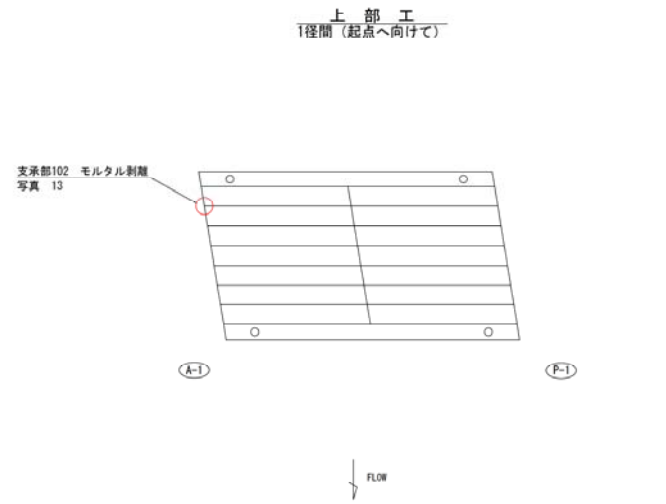
損傷図					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線



撮影ポイント	左側全景
写真番号	1
径間番号	1
損傷図名	
1径間橋面工-左側全景	
メモ	

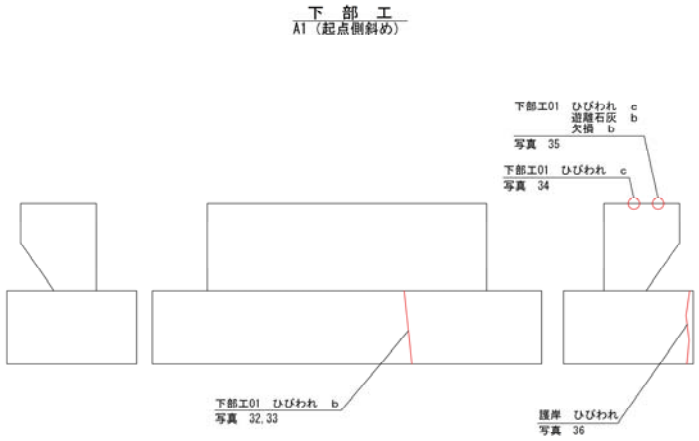


撮影ポイント	右側全景
写真番号	2
径間番号	1
損傷図名	
1径間橋面工-右側全景	
メモ	

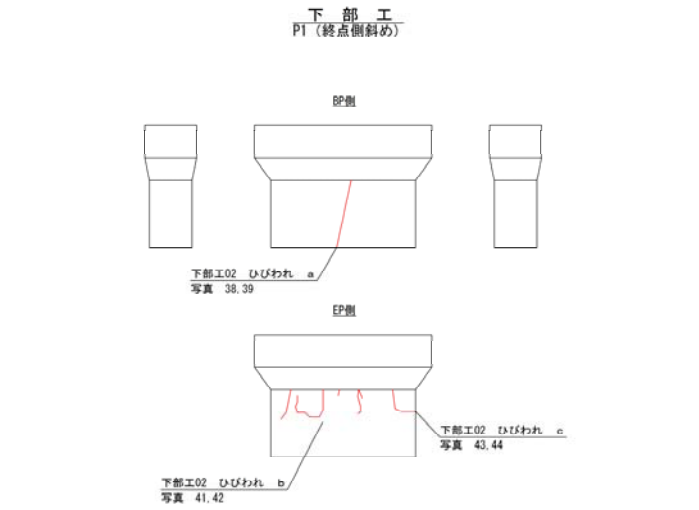


撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	3
径間番号	1
損傷図名	
1径間上部工-起点へ向けて	
メモ	

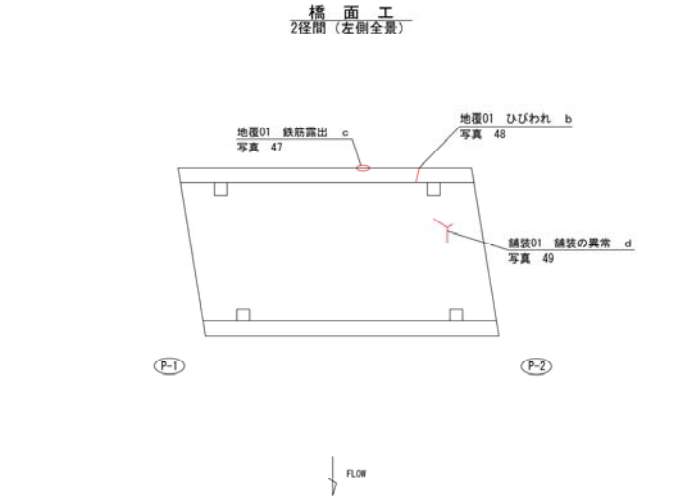
損傷図					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線



撮影ポイント	起点側斜め
写真番号	4
径間番号	1
損傷図名	
1径間下部工-起点側斜め	
メモ	



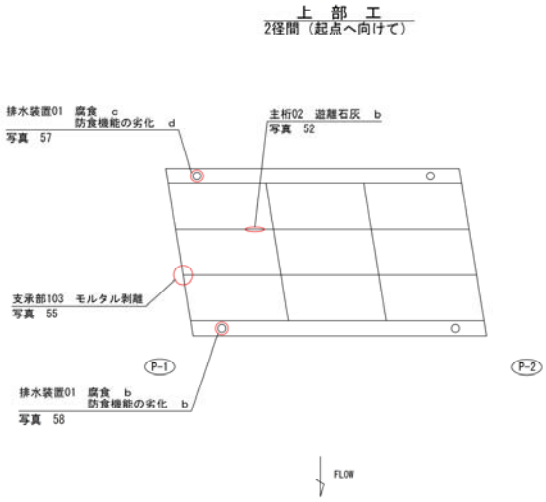
撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	5
径間番号	1
損傷図名	
1径間下部工-終点側斜め	
メモ	



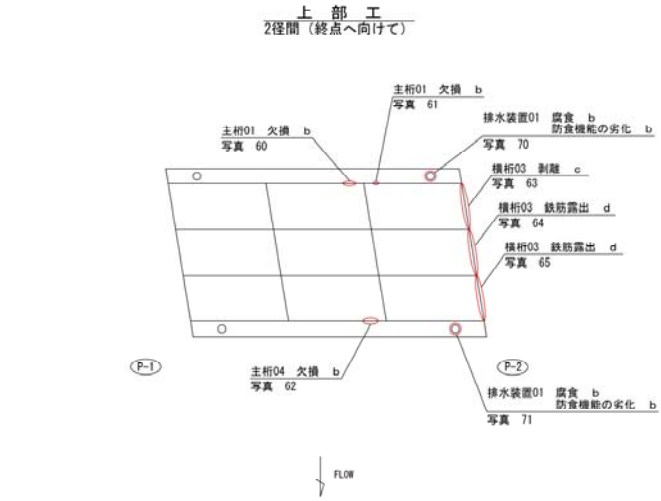
撮影ポイント	左側全景
写真番号	6
径間番号	2
損傷図名	
2径間橋面工-左側全景	
メモ	

損傷図

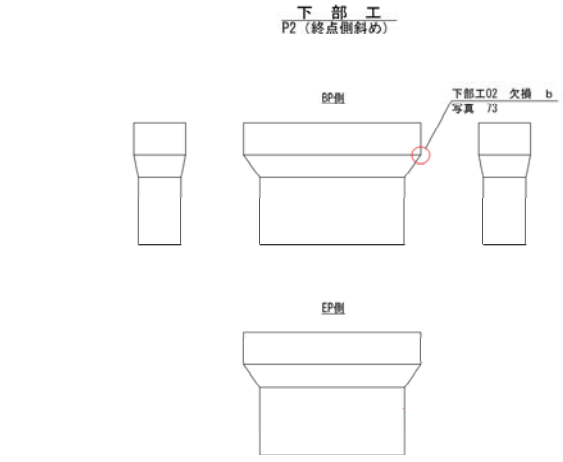
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線



撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	7
径間番号	2
損傷図名	
2径間上部工-起点へ向けて	
メモ	



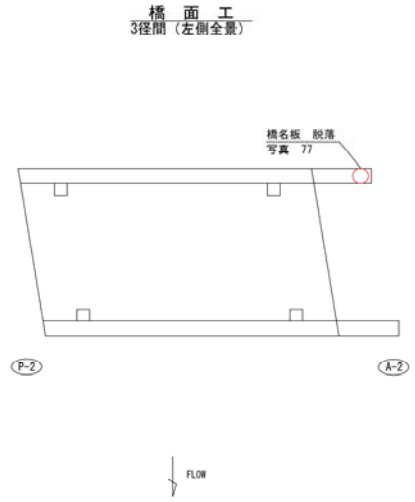
撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	8
径間番号	2
損傷図名	
2径間上部工-終点へ向けて	
メモ	



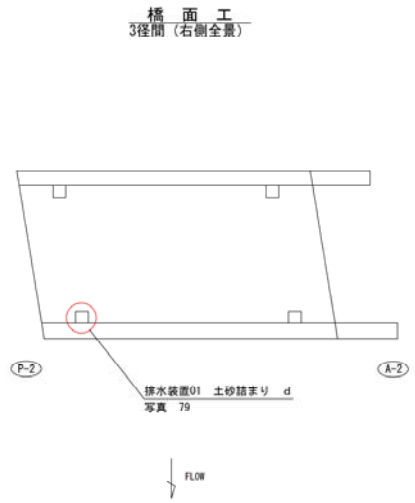
撮影ポイント	終点側斜め
写真番号	9
径間番号	2
損傷図名	
2径間下部工-終点側斜め	
メモ	

損傷図

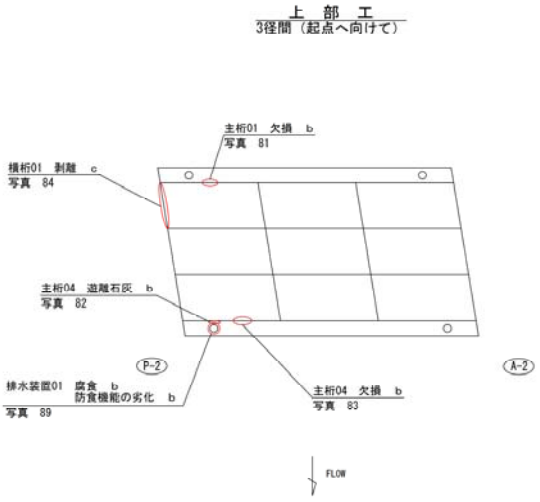
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線



撮影ポイント	左側全景
写真番号	10
径間番号	3
損傷図名	
3径間橋面工-左側全景	
メモ	



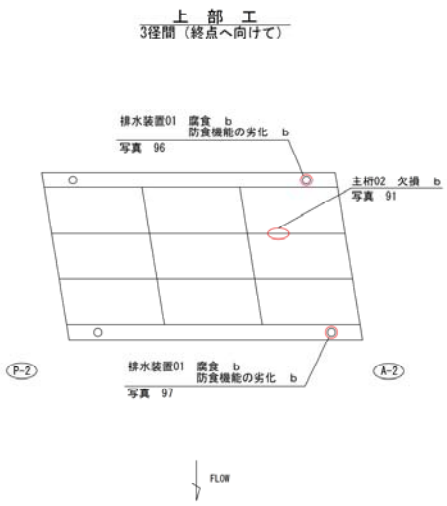
撮影ポイント	右側全景
写真番号	11
径間番号	3
損傷図名	
3径間橋面工-右側全景	
メモ	



撮影ポイント	起点へ向けて
写真番号	12
径間番号	3
損傷図名	
3径間上部工-起点へ向けて	
メモ	

2017/3/10

損傷図					
橋梁管理番号	01643101260	橋梁名	第1新興橋	路線名	中当古里線



撮影ポイント	終点へ向けて
写真番号	13
径間番号	3
損傷図名	
3径間上部工-終点へ向けて	
メモ	

橋梁管理番号		橋梁名											調査年度		上部工構造形式								
01643101260		第1新興橋											2016		PC橋 プレテンT桁								
点検日		2017/1/18				点検会社名							北王コンサルタント株式会社										
調査結果		径間番号	1			点検者							加藤 晋										
		鋼部材の損傷				コンクリート部材の損傷					その他				共通								
		①腐食	②亀裂	③ゆるみ・脱落	④破断	⑤防食機能の劣化	⑥ひびわれ	⑦うき・剥離・鉄筋露出	⑧漏水・遊離石灰	⑨床版ひびわれ	⑩遊間の異常	⑪路面の凹凸	⑫舗装の異常	⑬支承部の機能障害	⑭補修・補強材の損傷	⑮定着部の異常	⑯変色・劣化	⑰漏水・滞水	⑱変形・欠損	⑲土砂詰まり	⑳沈下・移動・傾斜	㉑洗堀	備考
主桁	01						a	a	a						a	a			a				
主桁	02						a	a	a						a	a			a				
主桁	03						a	a	a						a	a			a				
主桁	04						a	a	a						a	a			a				
主桁	05						a	a	a						a	a			a				
主桁	06						a	a	a						a	a			a				
主桁	07						a	a	a						a	a			a				
主桁	08						a	a	a						a	a			a				
横桁	01						a	a	a						a	a			a				
横桁	02						a	a	a						a	a			a				
横桁	03						a	a	a						a	a			a				
床版	01							a	a	a					a	a	a	a	a				
床版	02							a	a	a					a	a	a	a	a				
床版	03							a	a	a					a	a	a	a	a				
床版	04							a	a	a					a	a	a	a	a				
床版	05							a	a	a					a	a	a	a	a				
床版	06							a	a	a					a	a	a	a	a				
床版	07							a	a	a					a	a	a	a	a				
下部工	01						c	a	b						a	a	a	a	b		a	a	
下部工	02						c	a	a						a	a	a	a	a		a	a	
支承部	101	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	102	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	103	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	104	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	105	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	106	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	107	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	108	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	201	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	202	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	203	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	204	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	205	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	206	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	207	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	208	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
伸縮装置	01	a	a	a	a	a					a	a					a	a	a	a			
伸縮装置	02	a	a	a	a	a					a	a					a	a	a	a			
高欄・防護柵	01	a	a	a	a	b	a	a	a						a				a				
高欄・防護柵	02	a	a	a	a	b	a	a	a						a				a				
地覆	01	a	a	a	a	a	a	a	a						a		a		a				
地覆	02	a	a	a	a	a	a	a	a						a		a		a				
排水装置	01	a	a	a	a	a											a	a	a	a			
舗装	01											a	d					a					
その他	・支承部102：モルタル剥離 ・護岸：ひびわれ																						

橋梁管理番号		橋梁名											調査年度	上部工構造形式									
01643101260		第1新興橋											2016	PC橋 ポステンT桁									
点検日		2017/1/18				点検会社名	北王コンサルタント株式会社																
調査結果		径間番号	2			点検者	加藤 晋																
		鋼 部 材 の 損 傷					コンクリート部材の損傷				その 他				共 通								備考
		①腐食	②亀裂	③ゆるみ・脱落	④破断	⑤防食機能の劣化	⑥ひびわれ	⑦うき・剥離・鉄筋露出	⑧漏水・遊離石灰	⑨床版ひびわれ	⑩遊間の異常	⑪路面の凹凸	⑫舗装の異常	⑬支承部の機能障害	⑭補修・補強材の損傷	⑮定着部の異常	⑯変色・劣化	⑰漏水・滞水	⑱変形・欠損	⑲土砂詰まり	⑳沈下・移動・傾斜	㉑洗堀	
主桁	01						a	a	a						a	a			b				
主桁	02						a	a	b						a	a			a				
主桁	03						a	a	a						a	a			a				
主桁	04						a	a	a						a	a			b				
横桁	01						a	a	a						a	a			a				
横桁	02						a	a	a						a	a			a				
横桁	03						a	d	a						a	a			a				
床版	01							a	a	a					a	a	a	a	a				
床版	02							a	a	a					a	a	a	a	a				
床版	03							a	a	a					a	a	a	a	a				
下部工	01						－	－	－						－	－	－	－	－		－	－	
下部工	02						a	a	a						a	a	a	a	b		a	a	
支承部	101	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	102	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	103	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	104	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	201	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	202	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	203	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	204	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
伸縮装置	01	－	－	－	－	－					－	－					－	－	－	－			
伸縮装置	02	a	a	a	a	a					a	a					a	a	a	a			
高欄・防護柵	01	a	a	a	a	a	a	a	a						a				a				
高欄・防護柵	02	a	a	a	a	a	a	a	a						a				a				
地覆	01	a	a	a	a	a	b	c	a						a		a		a				
地覆	02	a	a	a	a	a	a	a	a						a		a		a				
排水装置	01	c	a	a	a	d											a	a	a	a			
舗装	01											a	d					a					
その他		・支承部103：モルタル剥離																					

橋梁管理番号		橋梁名										調査年度	上部工構造形式											
01643101260		第1新興橋										2016	PC橋 ポステンT桁											
点検日		2017/1/18				点検会社名	北王コンサルタント株式会社																	
調査結果		径間番号	3			点検者	加藤 晋																	
		鋼 部 材 の 損 傷					コンクリート部材の損傷				その 他				共 通									備考
		①腐食	②亀裂	③ゆるみ・脱落	④破断	⑤防食機能の劣化	⑥ひびわれ	⑦うき・剥離・鉄筋露出	⑧漏水・遊離石灰	⑨床版ひびわれ	⑩遊間の異常	⑪路面の凹凸	⑫舗装の異常	⑬支承部の機能障害	⑭補修・補強材の損傷	⑮定着部の異常	⑯変色・劣化	⑰漏水・滞水	⑱変形・欠損	⑲土砂詰まり	⑳沈下・移動・傾斜	㉑洗堀	
主桁	01						a	a	a						a	a			b				
主桁	02						a	a	a						a	a			b				
主桁	03						a	a	a						a	a			a				
主桁	04						a	a	b						a	a			b				
横桁	01						a	c	a						a	a			a				
横桁	02						a	a	a						a	a			a				
横桁	03						a	a	a						a	a			a				
床版	01							a	a	a					a	a	a	a	a				
床版	02							a	a	a					a	a	a	a	a				
床版	03							a	a	a					a	a	a	a	a				
下部工	01						a	a	a						a	a	a	a	a		a	a	
下部工	02						a	a	a						a	a	a	a	a		a	a	
支承部	101	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	102	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	103	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	104	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	201	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	202	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	203	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
支承部	204	a	a	a	a	a								a			a			a	a		
伸縮装置	01	a	a	a	a	a					a	a					a	a	a	a			
伸縮装置	02	a	a	a	a	a					a	a					a	a	a	a			
高欄・防護柵	01	a	a	a	a	a	a	a	a						a				a				
高欄・防護柵	02	a	a	a	a	a	a	a	a						a				a				
地覆	01	a	a	a	a	a	a	a	a						a		a		a				
地覆	02	a	a	a	a	a	a	a	a						a		a		a				
排水装置	01	b	a	a	a	b											a	a	a	d			
舗装	01											a	a					a					
その他		・橋名板:脱落																					